

2023年11月1日

新潟工科大学
柏崎市立内郷小学校
東日本旅客鉄道株式会社新潟支社

～JR 越後線石地駅が地域の力で生まれ変わります～

新潟工科大学・内郷小学校・JR 東日本が連携して無人駅のリノベーションを実施

新潟工科大学（学長：田邊裕治）、柏崎市立内郷小学校（校長：高橋晴美、以下「内郷小学校」）及び東日本旅客鉄道株式会社新潟支社（執行役員新潟支社長：白山弘子、以下「JR 東日本新潟支社」）は、柏崎地域の活性化と石地駅開業 111 周年を記念するため、「JR 越後線石地駅 111th anniversary リノベーションプロジェクト」（以下、「本プロジェクト」）を立ち上げ、連携して進めてきました。

11月10日（金）、本プロジェクトにより石地駅が大きく生まれ変わるとともに、駅のオープニングセレモニーを開催します。

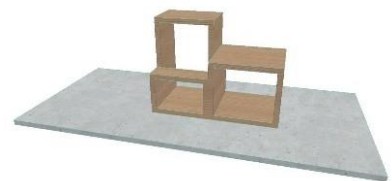


1. 「JR 越後線石地駅 111th anniversary リノベーションプロジェクト」により生まれ変わる新たな姿【コンセプト】

無人駅の隠れた価値を顕在化し、地域の魅力を表現した展示室へと空間改変を行う。

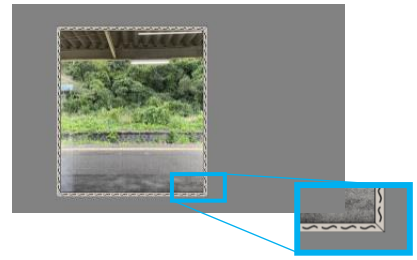
①椅子

- ・窓枠から見える景色を最適な視野角で見ることができ
る位置に1脚の椅子を新規で配置しました。
- ・新規の椅子は、親子が同じ目線で景色を見ることができ
ます。



②窓枠

- ・ホーム先に見える景色を窓枠にフレーミングすることで、自然の風景画のように、四季を通じて鑑賞することができます。
- ・窓枠には児童と大学生が共同で模様を彫りこみました。



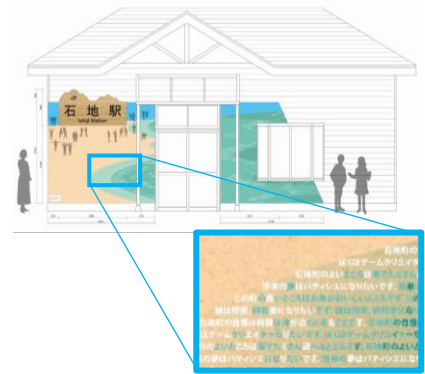
③駅名標

- ・石地地域の山や川などの地形を表現した駅名標で、素材は地域の杉を使用しています。
- ・駅名には、児童が集めた地域の石を詰め込みました。



④駅舎外壁

- ・文字のモザイクアートで外壁の『参加型デザインアート』を制作します。内郷小学校の地域の方々、プロジェクト関係者に対して「石地駅への想いや思い出」「地域や大切な人への感謝の言葉」をテーマに募集したメッセージを掲載します。
- ・石地海岸と児童が駅名標制作のための石を集める様子をイメージしたデザインです。



※①、②、③は新潟工科大学、④は JR 東日本新潟支社で制作します。

※上記制作物はいずれもイメージです。

2. 本プロジェクトについて

(1) 目的

地域との関わりを学び、得られた成果物を地域に還元することで、地域への愛着を育む。

(2) 参加メンバー

新潟工科大学、内郷小学校、JR 東日本新潟支社

(3) 経緯

- ・2021年3月、新潟工科大学学部4年生が柏崎地域の無人駅を題材とした卒業設計「そのとき、ここにて、おもう -柏崎地域無人駅15空間の再構築-」が、JIA新潟卒業設計コンクールで銀賞を受賞しました。それを受け、JR新潟駅直結の商業施設内シェアスペース「MOYORe:」やJR柏崎駅等での各種展示等を行いました。
- ・新潟工科大学は、JR東日本新潟支社とともに、JR石地駅が最寄りである内郷小学校と連携し、卒業設計を実現していくこととなりました。
- ・内郷小学校は、2023年度に5・6年生の年間を通じた総合的な学習の時間において、当該卒業設計制作過程の追体験を取り入れ、地域との関わりを学びながら得られた成果物を地域に還元することで、地域への愛着を育む学習に取り組んできました。
- ・同授業では、はじめにJR東日本新潟支社による出前授業やJR長岡駅の見学等で、児童は身近にある鉄道について多くの知識を学びました。その上で、新潟工科



踏切模擬装置を使った出前授業

大学及び JR 東日本新潟支社が中心となり、合計 8 回のワークショップを実施し、児童とともに 3 要素（①椅子、②窓枠、③駅名標）及び駅舎外壁について、アイデア抽出・デザイン検討、制作を進めました。

- ・制作した 3 要素及び駅舎外壁を JR 石地駅へ設置、施工し、11 月 10 日（金）に児童出席の下、オープニングセレモニーを開催、11 月 11 日（土）の石地駅開業 111 周年に花を添えます。



ワークショップの様子

3. オープニングセレモニーについて

(1) 日時

2023 年 11 月 10 日（金）13 : 30~14 : 00

(2) 場所

JR 東日本越後線 石地駅（柏崎市大字別山字商場 2196 番地 1）

(3) 参加者

内郷小学校 5・6 年生のご家族

新潟工科大学、内郷小学校、JR 東日本新潟支社の本プロジェクト関係者

(4) 内容

除幕及び代表児童挨拶等